

京都難病連 なんれんカフェ

2025.12.12 演劇上映会

11/29にハートピア京都で開催された
パーキンソン病リハビリ講演
『演劇リハビリ～飛べ！ポンコツロボット～』の動画を
参加者全員で鑑賞しました。



京都社会福祉会館_2階
加盟患者会々員_14名参加 (staff 3名含む)



京都難病連 なんれんカフェ

京都市委託事業 秋のリハビリ講演会

飛べ！ ポンコツロボット

50歳からの
ハローシアター
演劇上演

～あらすじ～
近未来。パーキンソン病を抱えるヨウコは、介護ロボットカナビンと共に暮らしている。
だが老朽化が進むにつれ、ロボットは少しずつヨウコ自身に似てきて——？

＜作者のことば＞パーキンソン病とともに歩んで18年。
まだ十分に理解されていないこの病を、多くの方に知っていただきたいと願い、台本を書きました。病を通して気づいたことを舞台にのせました。
支えてくださった仲間に感謝し、観てくださる皆さんに少しでも想いが伝われば幸いです。

日時 2025年11月29日（土）
13:30～舞台演劇の手法を使った
「声と体のトレーニング」
14:45～演劇上演「飛べ！ポンコツロボット」
15:30～アフタートーク・交流会

会場 ハートビア 京都 大会議室

出演

進行役/作者 マコ	ヨウコの父 池田忠紀
ヨウコ ランゼア	ヨウコの母 あかさたはまこ
カナビン 岩井一枝	友人1・ロボット1 四方 真由美
ヨウコの夫 コータロー	友人2・ロボット2 れいこ
ヨウコの娘 小笠由紀子	

原作 マコ / 台本協力 50歳からのハローシアター メンバー
構成・演出 細見佳代 / 舞台スタッフ 佐々木しゅう・西川弘・OGG・佃清
<Special Thanks>パーキンソン病友の会の皆様

主催 京都難病連
共催 パーキンソン病友の会／一般社団法人 ART & HEALTH きょうと

日本初！ パーキンソン病の啓発劇！

飛べ！ ポンコツ ロボット

感動の人間劇！

パーキンソン病の患者を主人公とした演劇「飛べ！ ポンコツ ロボット」は、友の会京都府支部のマコさんが脚本を書きました。パーキンソン病患者の心身の痛みや苦しみ、そして社会的な苦しみや悲しみを巧みに描き、クライマックスでは病者の希望が溢れ出る感動的な作品です。

この感動的な啓発劇の公演を本年11月29日に京都で行います。

また上演に合わせて演劇の声と身体のトレーニング手法を取り入れた「演劇リハビリ」のワークショップを会場参加者とともにを行い、演劇リハビリの普及にも努めたいと思っています。



京都難病連 なんれんカフェ

上映会の後は、少し早いクリスマス
美味しいお菓子と共に . . .



“パーキンソン病友の会”的
N西さんに淹れていただいたコーヒーでホッコリ・・



京都難病連 なんれんカフェ

今年最後の『なんれんカフェ』となりました。

一年間いろいろとお世話になりました。

年内最後のカフェにはたくさんの方にお集まりいただき、少し窮屈な思いをさせて、申し訳ありませんでした。

来年も何か楽しい企画を考え、皆様と笑って過ごしたいと思っています。

では、皆様のご多幸とご健勝をお祈りいたしますとともに、良いお年になることを重ねてお祈り申し上げます！！ 😊



Merry Christmas and Happy New Year

